

主要施策名：(4)観光・物産プロモーションの推進

事務事業本数：14

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
③賑わいと活力ある産業づくり	(4)観光・物産プロモーションの推進		340-2	玉名ブランド推進事業	観光物産課
			340-3	マスコット管理事業	観光物産課
			340-6	施設等管理運営事業	観光物産課
			340-7	草枕の里事業	観光物産課
			340-8	イベント誘客事業	観光物産課
			340-9	地域づくり事業	観光物産課
			340-10	【新型コロナ】観光支援事業	観光物産課
			340-11	金栗四三PR事業	観光物産課
		(1)インバウンド事業の推進	341-1	受け入れ態勢整備事業	観光物産課
			341-2	情報発信事業	観光物産課
			341-3	インバウンド推進事業	観光物産課
		(2)着地型観光商品開発の推進	342-2	協議会等連携・支援事業	観光物産課
		(4)玉名版DMOの構築	344-1	玉名版DMO構築事業	観光物産課
		(5)6次産業化の推進	345-1	6次産業推進事業	観光物産課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with project details: 事務事業の名称 (玉名ブランド推進事業), 所管課 (観光物産課), 作成者 (徳山 佑麻), 総合計画での位置付け, 実施の根拠, 事業区分, 会計区分.

《事務事業の目的》

Table with purpose details: 事務事業の実施背景 (人口減少対策), 対象 (玉名ブランド物産協会会員), 意図 (知名度アップ).

《事務事業の概要》

Table with project summary: 事業期間 (単年度のみ), 事業主体 (市), 実施方法 (直営), 事務事業の具体的な内容 (PR事業, 展示事業, ロゴ管理).

《事務事業実施に係るコスト》

Cost breakdown table showing R01-R04 and total for categories: 事業費 (国庫・県支・起債), 職人件費 (人工数・給与).

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 玉名ブランド物産PR事業	集客が多いイベントへブース出展して、ブランド物産品をPRする	イベントへの参加回数	回	5	2	3	5
② キラリかがやけ玉名物産展事業	物産展を開催してブランド物産品を販売する	参加業者の件数	件	20	7	0	20
③ オリジナルロゴマーク管理事業	オリジナルロゴマークの作製及び使用申請の審査・許可を行う	作製及び審査件数	件	0	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(ブランド物産協会会員)	32	31	31	29
投入コスト合計(千円)	9,965	3,896	3,516	7,267
対象1単位あたりのコスト(千円)	311	126	113	251
コスト評価(対前年比)	***	246.83% (↑)	111.50% (↑)	45.02% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 ブランドの知名度	物産展での集客人数	千人	1,700	90	90	90
			1,802	0	0	
2 玉名市物産展での売上	物産展でのブランド物産品の販売額	千円	4,600	2,500	2,500	2500
			3,553	212	764	

\* 成果未達成時の理由 令和3年度も新型コロナウイルスによるイベントの中止等が相次いだため、販売の機会が少なかった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	今年度も新型コロナウイルスの影響により、例年東京で開催されている渋谷フェスティバルはオンラインで開催され、対面販売はできなかった。ブランド認定品は、次年度から6次産業事業と共に「玉名の逸品」として新たに売り出していく予定であるが、具体的な内容については今年度検討する。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	ブランド認定品については、6次産業推進計画(第4期)が今年度をもって終了するため、今年度中に「玉名の逸品」として今後売り出していく旨を事業者へ説明を行っていく。また、6次産業事業者を対象として実施していた勉強会や個別相談会については、枠組みの変更に伴いブランド物産事業者も含めて対象とできる内容を検討する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後玉名ブランド物産品と6次産品を観光協会のもと調整一体を回り、玉名市の物産品としてPR及び販路拡大に取り組む必要がある。	評価責任者 伊藤 恵浩
-------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	マスコット管理事業		所管課 【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	徳山 佑麻
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市マスコット「タマにゃん」の使用に関する規則 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 7 項 1 目 2 細目 14

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	音楽イベントマスコットとして誕生し、平成23年度から玉名市のマスコット「タマにゃん」として正式に位置づけ商標登録している。その「タマにゃん」を玉名のイメージアップや認知度向上に積極的に活用していく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	タマにゃんの着ぐるみの貸出やマスコットの使用によって、市のPR活動やイメージアップにつなげ、市内外における玉名市の認知度の向上を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】                      【 H19 年度から】                      【      年度～      年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                      】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                      】
事務事業の具体的内容 【14】	申請者が実施する企画や実施する音楽をはじめとした様々なイベント等の場において、「タマにゃん」の使用が適切と審査した場合には、無償でマスコット・着ぐるみの使用・貸し出しを許可する。 ⇒ 【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ① 玉名市マスコット管理事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	355	494	194	298
		【16】 小計	355	494	194	298
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0			
	職人 員 の 費	職員人工数	0.52	0.47	0.32	0.32
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	2,848	2,574	1,671	1,734		
合計		3,203	3,068	1,865	2,032	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 玉名市マスコット管理事業	マスコット画像及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数	件	66	47	41	50
②	特許庁へ商標の登録申請を行う。	申請件数	件	2	***	***	***
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(マスコット画像使用申請者及び着ぐるみ貸出し申請者)	66	47	41	50
投入コスト合計(千円)	3,203	3,068	1,865	2,032
対象1単位あたりのコスト(千円)	49	65	45	41
コスト評価(対前年比)	***	75.38% (↓)	144.44% (↑)	109.76% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 マスコット画像使用許可件数	マスコットの画像使用を許可した年間件数(市内23件、市外4件) ( )内の数は、R3年度実績。	件	50	30	30	30
2 認知度向上	着ぐるみの市外出動件数	件	30	20	10	10
			26	0	4	
* 成果未達成時の理由		着ぐるみについては、新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止が相次ぎ、出演機会が減少したことが原因と思われる。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	画像使用申請については、商品販売を目的とした申請以外については、印鑑押印欄を削除しより申請しやすい運用に変更した。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	使用できるタマにゃんイラストのレパートリーが約20種類ほどに増えたため、このことも周知しながら、画像使用申請数の増加を図る。また、画像使用申請等の電子化に取り組みながら簡素化に努める。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後も引き続き、イベント等での出動のみならず、紙媒体やSNS等で積極的に発信し玉名市の認知度向上につなげる。	評価責任者 伊藤 恵浩
-------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	施設等管理運営事業		所管課 【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	本田 祐一
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 観光ほっとプラザ「たまら」条例、玉名市ふるさとセンター・Y・BOX条例等 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 7 項 1 目 4 細目 2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域資源を活用し、多くの観光客に来場してもらい経済効果を生むとともに、資源を有する地域の活性化を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	経営状態によって業務委託もしくは指定管理者制度導入を検討するなど、適切な運営管理と利用者の増加を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 H17 年度から】    【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 指定管理者制度 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・「たまら」は指定管理制度における基本協定に基づき、指定管理者により適切な管理運営を行う。 ・松原海水浴場は警備・清掃等委託契約により適切な維持管理を行う。 ・小岱山ふるさと自然公園は委託により管理及び巡視活動を行う。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業( 14 )本 ① 観光ほっとプラザ「たまら」指定管理業務 ② 松原海水浴場事業 ③ 小岱山ふるさと自然公園事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	1,563	1,872	3,789	1,637
		起債	0	0	36,700	9,200
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	4,759	6,053
		一般財源	34,651	66,871	85,774	30,158
		【16】 小計	36,214	68,743	131,022	47,048
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0			
	職人 員 の 費	職員人工数	0.85	1.15	1.15	1.15
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
	【17】 小計	4,655	6,297	6,006	6,231	
	合計	40,869	75,040	137,028	53,279	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 観光ほっとプラザ「たまら」指定管理業務	指定管理者に基本協定に基づき、管理運営を行わせる。	開館日数	日	365	365	365	365
② 松原海水浴場事業	委託により警備・清掃を行う。	海水浴場開設期間	日	41	0	0	0
③ 小岱山ふるさと自然公園事業	委託により管理を行う。	巡視回数	回	365	365	365	365

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(施設利用者数(R4は目標値入力:千人))	184	155	159	160
投入コスト合計(千円)	40,869	75,040	137,028	53,279
対象1単位あたりのコスト(千円)	222	484	862	333
コスト評価(対前年比)	***	45.87% (↓)	56.15% (↓)	258.86% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 利用者数	たまら、松原海水浴場、小岱山ふるさと自然公園、Y・BOXの延べ利用者数	人	185000	185000	160000	160000
			183851	154877	158553	
2 利用者数	玉の湯、草枕温泉ほか5施設の延べ利用者	人	-	-	360000	330000
			-	353552	320923	
* 成果未達成時の理由	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用による臨時休館等の影響で施設利用者が大幅に減少したため。					

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	松原海岸の管理については、令和5年度の指定管理者の更新時期に向け、主管課となる部署が不確定であるため、協議と検討が進んでいなかったが、松原海岸及び施設に対して興味を持った民間会社からの話があり、関係課が集まり協議を行った。その結果、民間会社が地元と協議した上で、任意団体を設立する予定であり、それに合わせて市の関係課が定期的に協議を行っている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を十分とりながら、令和5年度の指定管理者の更新時期に向け、松原海岸及び施設の一体的な管理運営を担うことができる団体の育成を、市として支援する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	各管理施設については、今後、ウイズコロナ、アフターコロナを見据え運営が必要である。また、Y-BOX、玉の湯、草枕温泉については公共施設適正配置に基づき民営化に向けた準備を進める。「たまら」については令和5年度からの指定管理選定方法を見直し、幅広く民間に呼びかけ、さらなる収益につなげる。	評価責任者 伊藤 恵浩
-------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	草枕の里事業		所管課 【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	大倉 千寿
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市草枕交流館条例、前田家別邸条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 7 項 1 目 4 細目 3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市天水町にしかない地域資源を最大限に活用し、地域の活性化及び観光客誘客を図り魅力ある観光地域づくりを行うことが必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	草枕の里を適切に管理することにより、訪れる観光客の満足度やイメージを向上させ「また来たくなる」リピーターの増加を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 H17 年度から】    【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・会計年度任用職員を配置して適切な管理運営を行う。 ・施設の維持管理においては有効活用を図りながら維持管理を行う。また、維持管理を実施する中で、漱石保存会の支援を受け雑草の除去、樹木の剪定等を行っている。この漱石保存会に対しては、補助金交付を行っている。 ・天水地域の観光関連事業所で構成された「天水・草枕の里観光協議会」の事務局的な機能も有している。
	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ⇒ ① 草枕交流館・前田家別邸運営事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	13
		一般財源	8,978	3,269	3,168	3,945
		【16】 小計	8,978	3,269	3,168	3,958
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	6,163				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.32	0.12	0.18	0.18
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			4.34	4.34	4.34	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	1,752	9,120	8,023	8,726		
合計	10,730	12,389	11,191	12,684		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 草枕交流館・前田家別邸運営事業	草枕交流館を拠点に前田家別邸等、地域資源を活かしたイベントを行う。	草枕交流館開館日数	日	280	229	226	307
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(来館者数(R4は目標値を入力))	4421	1451	1381	2000
投入コスト合計(千円)	10,730	12,389	11,191	12,684
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	9	8	6
コスト評価(対前年比)	***	22.22% (↓)	112.50% (↑)	133.33% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 草枕交流館来館者数	草枕交流館の延べ来館者数	人	6000	5000	2000	2000
2			4421	1451	1381	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により市内入込客数が激減し、交流館の来館者数が減少した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担にはなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベントを中止にしたが、非接触型イベントであるフォトコンテストを実施した。民間委託については、将来的な指定管理者制度を軸に協議を続けている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	ウィズコロナを前提とし、県内外からの来訪を促す取組みを検討するとともに、引き続き、将来的な指定管理者制度導入に向け、地元や関係各所と十分な協議を行ったうえで、今後の市としての方針を検討していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	文豪「夏目漱石」は他にない地域資源であることから、ブラッシュアップを図り観光ルートや「旅行商品」としての達成を目指す。今後さらなる観光客誘客に結びつけ、魅力ある地域づくり、過疎解消につなげる。	評価責任者 伊藤 恵浩
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 玉名大俵まつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて事務局を運営する。	実行委員会、執行部会の開催回数	回	11	11	10	10
② 高瀬裏川花しょうぶまつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて宣伝活動や案内所の受け入れ業務を行う。	イベント開催期間	日	16	0	0	16
③ 山田の藤PR事業	メディア媒体に対し事業のPRを行う。	イベント開催期間	日	16	0	0	17

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(観光客、参加者数(R3は目標値を入力))	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画	
		205212	0	299	100000				
		16,909	3,064	8,064	15,025				
		0	0	27	0				
		***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	0.00%	(-)	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 観光客数	玉名大俵まつり(0人)、高瀬裏川花しょうぶまつり(0人)、草枕ウォーキング(70人)の合計観光客数。( )内はR3年度の実績。	人	250,000	210,000	210,000	100000
			204,207	0	70	
2 スポーツツーリズム参加者数	ビーチサッカー(夏0人、秋0人)、ウォーターサバイバルゲーム(0人)、トレイルラン(229人)の合計参加者数。( )内はR3年度の実績。	人	800	1,000	1,000	600
			1,005	0	229	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルスの影響により、ほとんどのイベントが中止となった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	コロナ禍によるイベント開催の可否について、県が出しているイベント開催に対する対策方針を確認したうえで、感染リスク等を考慮した結果、開催困難と判断しほとんどのイベントは中止となった。トレイルランニング大会については、主催者が県へ確認を行い、人数規模的にも問題がないとのことであることができた。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	引き続き、県の指標に基づき適切な判断を行っていく。開催する場合は、コロナ対策を講じながら、来場者が安心して参加できる環境を提供できるよう努める。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後ウィズコロナのもとに集客人数の制限や、衛生管理の徹底など「新たなイベントスタイル」が求められる。また、「観光」との結び付けを強化することで、参加者の滞在時間を延ばす手法として、「宿泊施設プラン」や「観光案内プラン」等を構築し地域にお金が落ちる「しくみづくり」が必要である。また、既存のイベントを精査し、継続を含めた見直しを図ることで、費用対効果や事務の効率化を図る。	評価責任者	伊藤 恵浩
-------------------	---	-------	-------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 岱明夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	0	0	0
② 横島夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	0	0	0
③ 天水夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(来場者数)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)					
		5600	1	0	0	0	0	0	0
		5,224	1	329	0	157	0	0	0
		***	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 来場者数	岱明・横島・天水の夏祭りの来場者合計数	人	5600	5600	5600	※※※
2			5600	0	0	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベントが実施できなかったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成27年度から各夏まつり実行委員会及び玉名市商工会へ補助金に頼らない自主財源の確保に努めるよう自助努力をお願いしていたが、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和4年度から地域振興課の地域づくり事業と統合。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今年度より「夏まつり」への補助金については、県内外から誘客を図る観光振興との結びつきが薄いため、「地域振興」を所管する課へ移管。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 宿泊等クーポン券事業 (R2繰り越し分)	利用割引クーポン券事業を行い、旅館・ホテルの利用促進を図る。	クーポン券利用率	%	***	95	***	***
② ハイコオリティラベル旅行商品造成事業	新型コロナウイルス感染拡大に対応した対策及び観光戦略を策定する	クーポン券利用率	件	***	***	40	***
③ 音楽イベントと連動した観光事業	商品数	実施数	件	***	1	3	3

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(観光客入込総数(千人))	2436	1358	1165	2000
投入コスト合計(千円)	0	75,972	50,541	16,584
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	56	43	8
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (ー)	130.23% (↑)	537.50% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 観光客入込総数		千人	-	-	1500	2000
2			2436	1358	1165	
* 成果未達成時の理由		未だ続くコロナ禍により、観光客数増とはならなかった。イベントも開催されず、特に団体旅行、大人数での宴会等が回復していない。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	昨年度実施した市民向け、観光客向けの2種類のクーポン券の仕組みから、良かった点を組みあわせ、さらに今回は旅行者・宿泊施設に加えて日帰り温泉施設の支援も盛り込んだクーポン事業を行った。事業者からは歓迎されたものの、熊本県のまん延防止措置等重点措置が数回にわたって発令されたことなどにより、利用率は宿泊券が7割、日帰り温泉券が1割と、伸びなかった。ただ、前年比の観光入込客数が大きく落ち込む中、宿泊は微増となったため、クーポン券の効果があったものと思われる。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	これまで行ってきたクーポン事業は、これ以上行くと、割引がないとお客さんが来ないという悪影響につながるため、イベントの再開や国内外旅行の再開がみられるようになってきた今では、役割を終えつつあると考える。今後の支援の方法としては、これまでも行ってきた新しい生活様式に対応した旅行商品の開発やイベント開催の方に重点を置き、ウィズコロナ、アフターコロナでも持続可能な事業を行うことが一番の支援につながると思う。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、逼迫する観光関係団体の支援につながる事業を継続的に打ち出す。また、今後はコロナ禍の収束を見据えた効果的な観光戦略について、引き続き検討を進める。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------

### 事務ふりかえりシート

#### <<基本情報>>

事務事業の名称 【1】	金栗四三PR事業		所管課【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	橋本 健太郎
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			
重点施策【4】	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			款 7 項 1 目 7 細目 1

#### <<事務事業の目的>>

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	2019年大河ドラマの主人公のひとりに玉名市名誉市民である金栗四三氏が選ばれた。2021年の東京オリンピック開催を契機に日本人初のオリンピックとして注目が集まっており、同氏を広く周知するための情報の整理、発信が必要となっている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	大河ドラマ放送に伴う観光及び地域振興策はまたとない機会である。関連自治体のみならず、県内外で機運を醸成し、同氏及び市の認知度向上や経済、交流人口の活性化等を図る。

#### <<事務事業の概要>>

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H29 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	1 金栗四三PR業務…金栗氏が成し遂げた偉業の更なる磨き上げのため、金栗トロフィーを贈呈する等、金栗氏とゆかりのある自治体や団体などの連携の強化を図る。 2 大河ドラマ「いだてん」協議会業務…金栗スピリットを軸に、金栗氏ゆかりの地、市内の観光資源及び教育、福祉などをつなぎ、新しい観光誘客の魅力を創造するため、金栗レガシーの掘り起こしならびに「スポーツ」「ウェルネス」「教育」の3つの玉名型ツーリズムを推進する。 3 住家等管理運営委託業務…小田地区金栗四三ゆかりの地保存会に住家・資料館等の管理・運営を委託し、周辺整備を行うことにより、訪問者並びに近隣住民の交通等の利便性向上を図る。
【15】	事務事業を構成する細事業(3)本 ① 金栗四三PR業務 ② 大河ドラマ「いだてん」協議会業務 ③ 住家等管理運営委託業務

#### <<事務事業実施に係るコスト>>

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	23,696	2,922	0	0
		県支出金	9,597	1,716	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	216,664	21,255	14,868	16,230
		【16】小計	249,957	25,893	14,868	16,230
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	2,186				
	職人件費	職員人工数	4.10	2.05	2.00	1.00
		職員の年間平均給与(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.80
会計年度任用職員の年間平均給与(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】小計	22,452	11,226	10,446	6,847		
合計		272,409	37,119	25,314	23,077	



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 金栗四三PR業務	ゆかりのある大会や自治体への金栗トロフィー贈呈やゆかりのある学校を訪問するなど、連携の強化を図る。	連携団体数	団体	***	***	10	10
② 大河ドラマ「いだてん」協議会業務	3つの玉名型ツーリズム関連事業の遂行及びイベントを開催する。	イベント開催数	回	***	***	7	7
③ 住家等管理運営委託業務	金栗氏のゆかりの地である住家やお墓等の周辺整備を行い、訪問者並びに近隣住民の利便性向上を図る。	整備箇所数	箇所	1	3	12	12

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(観光入込客数(千人))	2436	1358	1165	2000
投入コスト合計(千円)	272,409	37,119	25,314	23,077
対象1単位あたりのコスト(千円)	112	27	22	12
コスト評価(対前年比)	***	414.81% (↑)	122.73% (↑)	183.33% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 観光入込客数	交流人口の増加人数(入込観光客数)	人	2500	2500	2500	2500
2			2436	1358	1165	
* 成果未達成時の理由		新型コロナウイルス感染症の影響により、来訪者が減少した。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 機運醸成と地域振興が目的のため ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症の拡大の中、金栗トロフィーの贈呈や、金栗ゆかりの関係団体との交流打合せ等を行い、一過性に終わらせない取り組みを継続して行うことができた。また、マラニック大会の開催や、ウェルネスツーリズムのモニターツアー、玉陵学園との連携事業等を行い、3つの玉名型ツーリズムを推進する事業計画を達成することができた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	金栗翁の偉業・精神を後世に引き継いでいくためにも、地元や他団体が主体となり金栗スピリットを継承していくことが望ましいと考える。その中で、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努めていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 金栗四三PR業務			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	金栗四三氏ゆかりの自治体や大学等の団体との交流を通じたPRを進める一方で、マラニックコースを活用した事業を行うことで地域活性化を図ることが必要。また、次年度以降を見据えて、マラニックイベントやゆかりの自治体との交流イベント等の所管も庁内で調整を行う。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 [1]	受け入れ態勢整備事業	所管課 [2]	観光物産課
		作成者(担当者)	高田 千織
総合計画での位置付け [3]	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり	重点 施策 [4] <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進	
	施策区分	(1)インバウンド事業の推進	
実施の根拠(複数回答可) [5]	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等[ ] <input type="checkbox"/> その他の計画[ ] <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 [6]	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 [7]	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計[ ] 款 7 項 1 目 4 細目 5		

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	観光客が求める多種多様なニーズに対応するため、市民、観光関係団体、行政が一体となって受け入れ態勢の整備を行う必要がある。
対象(誰、何に対して、受益者等) [9]	市民及び観光客
意図(どのような状態にしたいか) [10]	玉名市ならではの着地型旅行商品の開発および観光ウェブサイトの充実を図ることに加えて、市内18宿泊施設に対する感染症対策の認証を継続することで、リピーターの増加を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 [11]	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】   【 H17 年度から】   【 年度～ 年度まで】		
事業主体 [12]	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 ]		
実施方法 [13]	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 ]		
事務事業の具体的内容 [14]	・観光客が求める多種多様なニーズに対応するため、玉名市ならではの着地型旅行商品の開発及び観光WEBサイトの充実を図る。また、市内18宿泊施設に対する感染症対策の認証を継続することで、受け入れ態勢の整備を図る。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業( 3 )本 ① 着地型観光商品開発事業 ② プラットフォーム設置に向けた取り組み地域資源活用事業 ③ 宿泊施設感染症対策認証事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,947	2,530	2,045	2,045
		【16】 小計	2,947	2,530	2,045	2,045
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0			
職人件費	職員人工数	0.25	0.30	0.29	0.29	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
	会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,786	
	【17】 小計	1,369	1,643	1,515	1,571	
合計		4,316	4,173	3,560	3,616	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 着地型観光商品開発事業	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。	会議開催回数	回	10	3	4	5
② プラットフォーム設置に向けた取り組み地域資源活用事業	SNSを活用したキャンペーン等の情報発信	情報発信回数	回	13	20	10	20
③ 宿泊施設感染症対策認証事業	玉名市内の宿泊施設で、規定の項目を満たした施設に対して認証する。	認証件数	軒	***	18	18	18

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(参加者数(R3は目標地を入力))	488	76	13	100
投入コスト合計(千円)	4,316	4,173	3,560	3,616
対象1単位あたりのコスト(千円)	9	55	274	36
コスト評価(対前年比)	***	16.36% (↓)	20.07% (↓)	761.11% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 着地型旅行商品参加者数(旬たまWEEK)	参加者数	人	120	500	200	100
2 着地型旅行商品数(旬たまWEEK)	商品数	本	5	16	15	17
			16	12	15	
* 成果未達成時の理由	感染症対策や、従業員減により受け入れ可能人数が減っている。また、感染状況が落ち着いたタイミングで事業者の本業が忙しくなるため、体験の受け入れができない。事業者から、営業している店舗での体験受け入れはまだ怖いとの意見もある。					

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新しい生活様式に対応した商品開発は順調であるが、未だ続くコロナ禍により販売実績は出ていない。また、感染状況が落ち着いた際に既存の商品に申込希望があったものの、感染症対策を施すと受け入れ可能人数が推定人数に達しないなどの課題が出てきた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	引き続き新しい生活様式に対応した商品開発を進めつつ、既存商品の見直しを行う必要がある。受け入れ事業者の負担増とならないように、事業者と協力して見直しを行っていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後、玉名の観光を牽引する「一社 玉名観光協会」が主軸となり、温泉組合、物産協会、DMOをまとめ上げ、より強固な組織を形成することが重要である。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	情報発信事業	所管課【2】	観光物産課
		作成者(担当者)	高田 千織
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章) ③賑わいと活力ある産業づくり	重点 施策【4】	□ 該当
	主要施策(節) (4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分 (1)インバウンド事業の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 7 項 1 目 4 細目 7		

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市に数多くある観光資源をより多くの方に知っていただくために、イベントごとの観光プロモーションやメディア媒体を活用した情報発信を行い、玉名市の認知度向上を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	情報発信のための様々なツールを活用することで、玉名市の認知度向上を促し、県外からの観光客を誘客して集客拡大と地域活性化を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 H17 年度から】    【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	ターゲット地域を中心に誘客キャンペーンを実施する。(5月九州内しようまつりキャンペーン、9月キタクマアウトドアフェス、11月玉名大儀まつり、12月以降の玉名温泉あったか物語、2月玉名ふるさとフェアin大阪、その他県事業) 市ホームページやメディア媒体を活用して各種イベント等を情報発信、また、民間のホームページ等も活用して情報発信。 年に2回、玉名の旬な情報を掲載するパンフレット作成。
	<b>【15】 事務事業を構成する細事業(4)本</b> ⇒ ① 玉名観光魅力アップ事業 ② 観光HPPR事業 ③ 各種広告掲載事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	6,664	6,575	6,513	7,146
		【16】 小計	6,664	6,575	6,513	7,146
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0			
	職人 員 の 費	職員人工数	0.77	0.31	0.38	0.38
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	4,217	1,698	1,985	2,059		
合計	10,881	8,273	8,498	9,205		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 玉名観光魅力アップ事業	ターゲット地域を中心に誘客キャンペーンを実施	誘客訪問回数	回	55	10	12	30
② 観光HPPR事業	市HPに情報掲載、民間HPに情報提供	市HP情報掲載件数	件	100	50	60	80
③ 各種広告掲載事業	メディア媒体等で各種イベント等を紹介	広告件数	件	120	20	30	50

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(観光客数(R3は目標値入力:千人))	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画	
		10,881	4	***	1,358	6	66.67%	(↓)	2,000
		8,498	7	85.71%	8,498	7	85.71%	(↓)	9,205
		9,205	5	140.00%	9,205	5	140.00%	(↑)	140.00%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 観光客総入込客数	県に報告した玉名市の観光統計の総入込客数	千人	2500	2500	1500	2000
2			2436	1358	1165	

\* 成果未達成時の理由 昨年度よりもコロナ禍による行動制限は緩和されたが、団体旅行や天人数での宴会などが行われず、イベントもほとんど開催されなかったため、入込客数は回復しなかった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	年に2回発行していた観光パンフレットを1回の発行とし、掲載内容を、宿泊施設の感染症対策についてや、アウトドア、新しい生活様式に対応した観光商品の紹介などにしたことで、イベントの開催に左右されず通年使用できるパンフレットを発行することができた。また、それらの商品のPR動画をWEBで発信し、コロナ禍終息後の誘客につながる情報発信ができた。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	イベントの開催状況によりパンフレットの発行回数や内容を検討し、変更が予想される事項についてはWEBに誘導するなど、紙媒体とWEBの良いところを組み合わせる効果的な情報発信を行う。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	これまで同様、旅行雑誌などの広告媒体からSNSなどのインターネットを活用した情報発信が有効と考える。玉名市が運営する観光情報サイト「タマてバコ」を主軸に、今後さらに内容を充実させ、アクセス数を増やすことで広告費の削減につなげる。	評価責任者 伊藤 恵浩
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① インバウンド推進事業	旅行博への出展及び現地旅行社及びメディアへの訪問	商談回数	回	5	0	0	3
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(外国人宿泊者数(R3は目標値入力))	3524	685	161	500
投入コスト合計(千円)	16,139	1,040	783	16,313
対象1単位あたりのコスト(千円)	5	2	5	33
コスト評価(対前年比)	***	250.00% (↑)	40.00% (↓)	15.15% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 外国人宿泊者数	県の観光統計による外国人宿泊者数	人	3,000	3,500	1,500	500
			3,524	685	161	
2						

\* 成果未達成時の理由 世界的な新型コロナウイルスの影響による、国内へのインバウンド受入が非常に困難であったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	昨年度の本事業においては、メインターゲットとなる台湾・香港を主な対象として、新型コロナウイルス感染拡大前に一定の受入成果のあった「いちごマラソン」を軸とした商品造成を実施予定であったが、コロナ禍により、いちごマラソンの中止やインバウンド受入の具体的な見通しがたたないことから、全ての事業を中止した。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	本年6月から、一部地域からの外国人観光客が再開されたところで、円安の背景も相まって依然として日本へ旅行したいという需要は高い状況である。その中で、九州や熊本県へのインバウンド客の流れがいつ戻るのかは予測が難しいところだが、オンラインツアーや海外での物産品のPRを行いながら、今後の需要に備えた受入対策を行っていく。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	インバウンド事業については、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、今後の回復する見通しは不透明である。そのため、日本国内の誘客への回帰とともにコロナウイルスの状況並びに海外情勢を見極めながら事業を実施する必要がある	評価責任者 伊藤 恵浩
-------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	協議会等連携・支援事業		所管課 【2】	観光物産課	
			作成者(担当者)	大倉 千寿	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進			
	施策区分	(2)着地型観光商品開発の推進			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <span style="float:right">■ 該当なし</span>				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 7 項 1 目 4 細目 8				

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	観光関連における九州域内の各種協議会との連携を図り情報を共有するとともに、財政的あるいは人的な支援を行いながら、玉名市の観光振興につなげていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	観光関係の協議会等と連携を図り、支援をすることで、観光産業の振興を促し多くの観光客に来てもらう。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】     【 H17 年度から】     【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・玉名を訪れる観光客を受け入れるために、案内板の便宜設置、観光ガイドの発掘育成や各観光関連事業所スタッフの接遇及びおもてなし向上を図るために、玉名観光協会及び玉名温泉観光旅館協同組合等に対して補助金交付や人的な支援を行う。 ・県北観光協議会と連携するとともに、負担金を支出し、観光PR等の事業を推進する。 ・九州観光都市連盟と連携するとともに、観光PR等の事業を推進する。 ・熊本県観光連盟と連携するとともに、負担金を支出し、観光PR等の事業を推進する。 ・くまもとまかもん輸出支援協議会と連携するとともに、負担金を支出し、物産PR等の事業を推進する。
	【15】 事務事業を構成する細事業(19)本 ⇒ ① 玉名観光協会事業 ② 玉名温泉活性化事業 ③ 県北観光協議会事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	23,245	22,762	20,900	32,520
	【16】 小 計	23,245	22,762	20,900	32,520	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人 員件 の費	職員人工数	0.87	0.65	0.45	0.45
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小 計	4,764	3,559	2,350	2,438		
合 計	28,009	26,321	23,250	34,958		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	4	1	1	3
② 玉名温泉活性化事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	14	0	0	3
③ 県北観光協議会事業	県北の自治体と連携して観光PRを実施する。	観光PR回数	回	4	0	4	5

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(観光客数(R4は目標値入力:千人))	2436	1358	1165	2000
投入コスト合計(千円)	28,009	26,321	23,250	34,958
対象1単位あたりのコスト(千円)	11	19	20	17
コスト評価(対前年比)	***	57.89% (↓)	95.00% (↓)	117.65% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	千人	2500	2500	1500	2000
			2436	1358	1165	
2 温泉旅館宿泊者数	県の観光統計による宿泊客数	人	110	110	60	60
			115	58	59	

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で観光客数が減少したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担にはなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度から観光客数が減少したままだったが、各観光関連団体との連携強化のために協議を行った。日本遺産関連事業については、民間組織主体で運営していくことが望ましいことから、令和2年度から継続して事務事業の一部を委託して実施した。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和3年度から招聘した観光アドバイザーを増員し、各観光関連団体の改革を含め、意見を反映させながら進める。日本遺産事業については、玉名観光協会を軸に玉名市ほか参画自治体が支援しながら事業を継続していく。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	協議会については、団体、市町村が連携し幅広く事業へ取り組むためには効率的な事業である。ただし、趣旨や目的が類似もしくは重複した協議会事業も見受けられることから、統廃合など見直しも含め検討を行う必要がある。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称	玉名版DMO構築事業		所管課	観光物産課
			作成者(担当者)	高田 千織
総合計画での位置付け	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分	(4)玉名版DMOの構築		
			重点施策	■ 該当
実施の根拠(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 第2期玉名市まち・ひと・しごと創生総合戦略 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	7 項 1 目 4 細目 18

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)	国内の旅行需要が伸び悩むなか、また定住人口の減少による経済的な損失を補うためには、他の地域からの交流人口を増加させ、民間の経営手法を取り入れた観光地域づくりを推し進める必要がある。
対象(誰、何に対して、受益者等)	(一社)玉名観光協会及び観光関連事業者
意図(どのような状態にしたいか)	本市の観光振興の推進母体である玉名観光協会を軸に、観光地域づくりの舵取り役として推進体制の構築を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】           【 H28 年度から】           【      年度～      年度まで】
事業主体	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                   】
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                   】
事務事業の具体的内容	観光を切り口として交流人口を増加させるため、玉名観光協会を母体としてDMOの構築を図る。令和3年度からは起業で培われた人脈やノウハウのある人材を活用し地域活性化を図るとともに「ひと」の流れを創出する。 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">           【15】 事務事業を構成する細事業( 1 )本            ① 地域活性化起業人制度事業            ②            ③         </div>

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,959	2,959	6,133	13,200
		<b>【16】 小計</b>	<b>2,959</b>	<b>2,959</b>	<b>6,133</b>	<b>13,200</b>
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0			
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.45	0.41	0.15	0.15
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
		会計年度任用職員人工数		0.00	0.00	0.00
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
	<b>【17】 小計</b>	<b>2,464</b>	<b>2,245</b>	<b>783</b>	<b>813</b>	
<b>合 計</b>		<b>5,423</b>	<b>5,204</b>	<b>6,916</b>	<b>14,013</b>	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 地域活性化起業人制度事業	観光協会組織改革会議や市及び各種協議会が実施する会議に参加し、助言提言を行う。	会議参加数	回	***	***	68	100
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(玉名観光協会会員)	59	62	61	61
投入コスト合計(千円)	5,423	5,204	6,916	14,013
対象1単位あたりのコスト(千円)	92	84	113	230
コスト評価(対前年比)	***	109.52% (↑)	74.34% (↓)	49.13% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 玉名観光協会会員数	会員数	人	-	-	62	61
			59	62	61	
2 地域活性化起業人が会議に参加した数	会議参加数	本	-	-	-	100
			-	-	68	

\* 成果未達成時の理由 会員企業が退会したため

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  c
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	地方創生推進交付金継続事業であった玉名版DMO構築等に係る販路開拓・旅行商品造成事業が令和2年度で終了し、令和3年度からは地域活性化起業人制度を導入して本事業に取り組んだ。5月に株式会社阪急交通社と協定を締結することができ、観光アドバイザーとして人材を1人派遣していただいている。玉名観光協会の組織改革に必要な規定策定等にも、民間で培われた知識や経験を基に助言をいただいている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	地域活性化起業人には玉名観光協会会員をはじめとする地元事業者とも積極的に関わっていただいております。規定策定などと並行して、会員との繋がりの強化、協会の認知度向上にも一役買っていただいている。引き続き地域活性化起業人と協力して観光協会の組織体制の強化を図ってまいります。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	玉名観光協会会員、各種観光団体へDMOの認知度を高め、メリット、デメリットを丁寧に説明し理解してもらうことが重要であるが、まずは、新型コロナウイルス感染拡大により逼迫する旅館やホテルなどの観光関係団体との連携を強化し、このコロナ禍を乗り切る施策をどれだけ打ち出せるかが課題である。DMOは観光で稼ぐ力(ノウハウ)を民間団体へ指導する立場であるにも係らず、指導実績が見出せないのも課題である。本年度は母体となる玉名観光協会への指導、助言を含め組織改革、事業の見直しを図る。	評価責任者  伊藤 恵浩
-------------------	---	--------------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	6次産業推進事業		所管課【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	徳山 佑麻
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分	(5)6次産業化の推進		
重点 施策【4】	■ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 6次産業活性化委員会要綱、6次産業推進補助金要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 6 項 1 目 3 細目 10			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	農林漁業を取り巻く現状は、農林漁業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の拡大、食料自給率の低下、農林漁業所得の減少、TPP問題等国際情勢の変化など、様々な問題が積山している状況である。そのため玉名市では、地域経済の再建や活性化を図るために地域の基盤産業が連携を強化し、産業力の向上に取り組むとともに、地域資源を地域加工品として付加価値をつけ、磨き上げ、販路拡大等に向けた取り組みを進めていくことが重要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	6次産業に取り組む市内の農林漁業者(1次生産者)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	6次産業を確立することにより、農林漁業者(1次産業者)の所得向上および地域活性化を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H22 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	産力力の向上及び地域活性化を目的として、玉名市内で生産した農水産物を活用して、6次産業化する事業者を支援する。 ・個別相談会(研究開発、販路開拓等) ・勉強会(販路開拓セミナー) ・販路開拓支援(展示会等での支援) ・6次産業推進事業補助金の交付 ・催事、商談会等の情報提供等
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 研究開発事業 ② 販路開拓事業 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	120	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	4,240	958	874	4,003
		【16】 小計	4,360	958	874	4,003
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.66	0.81	0.51	0.51
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	3,614	4,436	2,664	2,763		
合計	7,974	5,394	3,538	6,766		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 研究開発事業	補助金を交付することにより6次産品の開発を支援する。	補助金交付件数	件	6	2	2	4
② 販路開拓事業	市場調査(テストマーケティング)の場の提供、販路開拓(商談)支援	販売会の開催、商談会での支援回数	回	9	2	1	5
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(6次産業に取組む市内の農林漁業者(1次生産者))	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画	
		20	399	***	20	270	152.54%	20	338
		7,974	399	***	5,394	270	152.54%	6,766	338
					147.78%	(↑)	152.54%	(↑)	52.37%
									(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 6次産品売上高	市の補助金を活用して開発された6次産品の販売金額	千円	50,000	50,000	50,000	50,000
			49,972	35,402	52,989	50,000
2 6次産業推奨品認定数	市が推奨品として認定した商品数	品	5	5	2	2
			0	3	0	0

\* 成果未達成時の理由 新型コロナの影響による商談会や販売会の中止など、事業者が取引できる機会が少なかったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  d
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	補助金は令和4年度で終了する。個別相談会と勉強会については、計5回開催したが新型コロナウイルスの影響によりうち1回は中止となった。商談会についても同様、複数回出展を予定していたが、11月に福岡で行った商談会1回のみであった。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和4年度も同様、個別相談会と勉強会を開催し、併せて販路拡大や商品開発等にかかる補助を実施しながら、令和5年度からは玉名ブランド認定品やその他の物産品とともに「玉名の逸品」として一体的な推進に取り組んでいく。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	6次産業推進計画も最終年度の大詰めの年となり、令和5年度からは補助制度はないものの、今後、着々と個別相談会や勉強会、商談会等を行い、商品の磨き上げや販路拡大につながる取組への支援を続ける。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	--	----------------